

第1表

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

児童一人一人が互いに人権を尊重し、生涯を通して社会の変化に柔軟に且つ、主体的に対応する力や周囲と協調しながら豊かに生きる力を培うために、以下の目標を掲げる。

◎しっかり考える子 ○仲よくする子 ○すすんで取り組む子

ア 目指す児童像 「心通わせ、夢を育み、感謝あふれる児童」

- ① 人と関わり合っていく中で、心を通わせ、互いを思いやること。
- ② 「～したい」という夢や希望をもち、それに向かって挑戦していくこと。
- ③ 夢の実現のためには、全ての人に感謝の気持ちをもつこと。

イ 目指す学校像

- ① 挨拶と笑顔のあふれる学校
- ② 安心・安全な学校
- ③ 信頼される学校

(2) 特別支援学級の教育目標

- 情緒の安定を図り、心身ともに調和のとれた発達を促す。
- 社会生活に必要なスキルを培い、将来の自立に向けた力を身に付けさせる。
- 言語・数量に関する基礎的・基本的な能力を伸ばす。
- コミュニケーション能力の伸長を図る。

(3) 学校の教育目標を達成するための基本方針

第2次学校教育基本計画に基づき、次のとおり、学校の教育目標を達成するための基本方針を定める。

- ア 全ての教科等において、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、主体的・対話的で深い学びができる授業改善を実践する。学習に向かう姿勢「身構え、心構え、物構え」の指導を徹底し、児童の学習規律を確立する。「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させ、「しっかり考える子」の育成を図る。
- イ 人権尊重の精神を基調にし、人や自然との多様な関わりを通して、自他の「いのち」を尊重する態度を育む。そして、互いに支え合い、違いを認め合い、自分の成長に自信がもてる仲間集団を育て、「仲よくする子」の育成を図る。
- ウ 教育活動全体を通して、児童一人一人を肯定的に評価し、自己指導力、自己肯定感、自尊感情を育むことに努め、自信をもって自ら行動し、人を思いやって共に行動する「すすんで取り組む子」の育成を図る。
- エ 挨拶と時間を守った行動を重点として、基本的な生活習慣の確立を図る。場や相手に応じた言葉遣い、社会性や規範意識を児童一人一人にしっかりと身に付けさせるために、教職員全員が一致した指導を行う。
- オ 体育的行事をはじめ、保健指導、食に関する学習、薬物乱用防止教室、体力テスト等を通して、感染症の予防・感染拡大防止に努め、衛生や自分の健康・体力について興味・関心をもたせる。そして、生涯にわたって運動に親しみ、自ら心身の健康を保持増進する意欲と態度を育てる。
- カ 異学年交流や地域との交流を通して、他者とのかかわり合いの楽しさを味わわせ、思いを言葉で表現する能力や態度、思いやる心を育てるとともに豊かなコミュニケーション能力の育成を図る。
- キ 特別支援教育の推進を図るために、特別支援教育コーディネーターと特別支援教室専門員を中心に校内委員会を効果的に運営し、児童理解を深め、一人一人の教育的ニーズに合った指導を行う。また、スクールカウンセラー、町専任相談員、家庭と子供の支援員、子ども家庭支援センター等関連機関と進んで連携を強化し、組織的な支援から保護者の養育力、教育力の向上を図る。
- ク 学校公開、道徳授業地区公開講座、地域人材を活用した授業等を実施して開かれた学校を展開していくとともに、幼稚園・保育園、中学校との連携を通し、地域の中で力を合わせて児童を育てる学校づくりを推進する。
- ケ ふるさと学習「みずほ学」を通し、地域の良さや瑞穂町の伝統・文化への理解を深めることで郷土への関心・愛着心の育成と地域社会の一員としての自覚の育成を図る。
- コ 学校運営連絡協議会や学校評価を通して学校の経営改善を図り、積極的に教育課程の編成に反映させることで、社会と共有・連携して信頼される学校づくりを推進する。